

19	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854016	遺伝子不安定性ならびにメチル化異常による 消化器癌の発生とその分子標的治療	今井 浩三(札幌医科大学・学長)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、消化器癌における遺伝子不安定性および異常メチル化により不活化される癌関係遺伝子を同定することによって消化器癌の分子発生機序を明らかにし、さらに異常メチル化を標的とした消化器癌の分子標的治療の開発を目指したものである。本研究では消化器癌における CHFR、WIF1、SFRP、PASSF2 のメチル化による不活化と癌化における役割を証明し、さらにメチル化阻害薬を用いて細胞株レベルでの不活化分子の再発現を証明しており、期待どおりの研究成果が得られている。今後の臨床応用にも期待が持てる。本研究は学術的価値も高く、また他の分野における貢献度も大きいと考えられる。</p>				
20	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854017	自己免疫性皮膚疾患・天疱瘡における発症機序の解明	天谷 雅行(慶應義塾大学・医学部・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>当初の目標である天疱瘡をモデルとした自己免疫疾患の発症機序の解明に関しては、モノクローナル抗体の開発により、十分に進展することができた。さらに、生理的条件下で臓器特異的自己免疫疾患の発症機序を解明するに至っている。また、臨床的にも、自己抗体の検査が保険適応になるなど、実践的な診療にも貢献し、全体として期待以上の進展があった。さらに、自己免疫疾患の発症の解明に関しては、免疫寛容獲得機構の研究につながってきたが、今後分子免疫学者の協力も得て、免疫学の普遍的な現象を解明できることを期待する。</p>				